

## 第1部 米国の道路制度の概要

### 1. 道路の現況

アメリカ合衆国（以下米国と呼ぶ）は、50の州とコロンビア特別区によって構成される連邦制の共和国であり、面積約937万平方キロメートル、人口2億9844万人（2006年）、国民総生産13兆8112億ドル（2007年）の大国である。

米国では、その広大な国土を効率的に結ぶために、建国以来積極的に交通ネットワークの整備が行われてきた。19世紀まで交通の中心は、水運と馬車であったが、後半に鉄道に取って代われ、20世紀には自動車と航空が主役となった。

2006年の輸送機関別の分担率を見ると、旅客については、自動車が約88%と圧倒的な地位を占めており、これに航空の約11%が続いている。貨物については、鉄道が約40%、自動車が約28%、パイプラインが20%、水運が約12%を占めている。

自動車交通を担う道路の総延長は、2006年現在で約650万kmであり、日本の高速自動車国道にあたるインターステート高速道路（Interstate and Defense Highway）の総延長は75500kmであり、いずれも世界最長である。

道路を財源によって分類すると表1-1の横軸のとおりⅠ連邦補助道路（連邦政府が予算を支出する道路）と、Ⅱ非連邦補助道路（州等の地方政府が、独自の財源で整備する道路）に大別される。道路を所在地によって分類すると表1-1の縦軸のとおりA地方部道路とB都市部道路となる。道路を機能によって分類すると表1-1の縦軸のとおり①主要幹線道路（Principal Arterial、地方部202,142km、都市部101,744km）、②補助幹線道路（Minor Arterial、地方部218,153km、都市部167,348km）、③主要集散道路（Major Collector、地方部674,904km、都市部km数不明<sup>1</sup>）、④補助集散道路（Minor Collector、地方部423,399km、都市部km数不明）、⑤域内道路（Local、地方部3,294,013km、都市部1,187,960km）の5分類となっている。

わが国の高速道路に相当するのは、最上級の主要幹線道路である地方部のインターステート高速道路（49,272km）、都市部のインターステート高速道路（26,195km）及び都市部の主要幹線道路のその他高速道路（Other Freeways and Expressways、17,402km）である。

---

<sup>1</sup> 都市部の集散道路は、主要と補助の区別がなく、合計で177,132kmである。

表 1 - 1 所在地別・機能別・連邦補助別道路延長(2006年)

(k m)

道路機能	I 連邦補助道路					II 非連邦補助道路	合計
	ナショナル・ハイウェイ・システム <sup>2</sup>						
	インターステート	その他	計	その他	合計		
<b>A 地方部</b>							
①主要幹線道路 インターステート	49,272	—	49,272	—	49,272	—	<b>49,272</b>
その他	—	127,698	127,698	25,172	152,870	—	152,870
小計	49,272	127,698	176,970	25,172	<b>202,142</b>	—	<b>202,142</b>
②補助幹線道路	—	3,600	3,600	214,653	<b>218,253</b>	—	<b>218,253</b>
③主要集散道路	—	1,181	1,181	673,723	<b>674,904</b>	—	<b>674,904</b>
④補助集散道路	—	34	34	—	34	423,365	<b>423,399</b>
小計	—	4,815	4,815	888,376	893,191	423,365	1,316,556
⑤城内道路	—	60	60	—	60	3,293,954	<b>3,294,013</b>
地方部計	49,272	132,573	181,845	913,547	1,095,392	3,717,319	4,812,711
<b>B 都市部</b>							
①主要幹線道路 インターステート	26,195	—	26,195	3	26,199	—	<b>26,199</b>
その他の高速道路	—	15,170	15,170	2,232	17,402	—	<b>17,402</b>
その他	—	36,902	36,902	64,842	101,744	—	<b>101,744</b>
小計 I	26,195	52,072	78,267	67,077	145,345	—	<b>145,345</b>
②補助幹線道路	—	2,157	2,157	165,191	167,348	—	<b>167,348</b>
③④集散道路	—	610	610	176,523	177,132	—	<b>177,132</b>
⑤城内道路	-	195	195	-	195	1,187,765	<b>1,187,960</b>
都市部計	26,195	55,033	81,228	408,791	490,019	1,187,765	1,677,785
都市部及び地方部合計	75,467	187,606	263,073	1,322,338	1,585,411	4,905,084	6,490,496

上記の分類で見た有料道路の2007年1月現在の延長は、表1-2のとおりであるが、合計で8,216 km存在し(接続道路の無料部分を含む)、全道路に占める有料道路の割合は、約0.13%である。内訳を所在地別で見ると地方部が4,435 km、都市部が3,780 kmである。

地方部に存在する道路の内訳を機能別で見ると、インターステート高速道路が2,938 kmで最も多く、次に主要幹線道路が1,370 kmで続いている。

都市部に存在する道路の内訳を機能別内訳を見ると、インターステート高速道路が1,926 kmで最も多く、次にその他の高速道路1,498 km、主要幹線道路が267 kmとなっている。

<sup>2</sup> ナショナル・ハイウェイ・システムは、他の交通機関との結節点や国境など従来ボトルネックとなっていた部分を強化するために、1995年に設定された路線網であり、インターステート高速道路もこれに含まれている。